

2016年12月28日

Page 1/3

<ミュージアムパーク茨城県自然博物館 企画展のご紹介>

アンモナイト・ワールド ―恐竜時代の海へいこう―

開催地 : ミュージアムパーク茨城県自然博物館 〒306-0622 茨城県 坂東市 大崎700番地
開催期間 : 2017年2月18日 ~ 2017年6月11日 (月曜 休館) ※ 3月20日(月)・6月5日(月)は開館し、翌日が休館日となります
開館時間 : 9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
入館料 : 一般・¥740 高校/大学生・¥450 小中学生・¥140 ※ 3月20日・5月4日・6月5日は入館無料日です
公式サイト : https://www.nat.museum.ibk.ed.jp/

・開催期間中の自然講座 ①

アンモナイトのなぞ ―絵を描きながらアンモナイトについて学ぶ―

日時:2017年3月25日(土) 13:30 ~ 15:00 (定員40名)

・開催期間中の自然講座 ②

アンモナイトとその仲間たちの自然史

日時:2017年5月27日(土) 13:30 ~ 15:00 (定員30名)

・自然観察会 (実施場所はいわき市アンモナイトセンター、現地集合)

アンモナイトを見つけに行こう

日時:2017年5月21日(日) 10:30 ~ 14:30 (定員30名)

※全て事前申し込みが必要で、先着順です。定員に達し次第、募集は終了となります

ここでご紹介している「アンモナイト・ワールド」は、2017年2月からミュージアムパーク茨城県自然博物館さんで開催される企画展です。アンモナイトをさまざまな観点から紹介する内容で、世界各国からの標本に加え、貴重な茨城県産の実物化石標本も展示されます。

第68回企画展

アンモナイトの世界

The World of Ammonites
-Mysterious Creatures of the Mesozoic Oceans-
— 恐竜時代の海へいこう —

2017
2/18 **6/11**

2月18日(土)は午後1時からの公開となります。

■ 開催時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
■ 休館日 毎週月曜日(但し毎月第1日の場合はその翌日)
※3月20日(月)、6月5日(月)は閉館し、翌日が休館となります。
■ 入館料 一般 740円(600円)年間パスポート 1,540円
高校・大学生 450円(310円)年間パスポート 1,030円
小・中学生 140円(70円)年間パスポート 310円
※()内は20名以上の団体料金です。
※未就学児、満70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は入館無料です。
※この料金には、本館内常設展「野外施設」入場料が含まれています。
※各土曜日は、小・中学生以上は入館無料です(但し、身体不自由な場合は除きます)。
※3月20日(春分の日)、5月4日(みどりの日)、6月5日(端午の日)は、サイエンスデー(無料入館日)です。

■ 主催 ミュージアムパーク茨城県自然博物館
■ 後援 NHK水戸放送局・茨城新聞社
ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会

■ 記念行事 ●自然講座「アンモナイトのなぞー絵を描きながらアンモナイトについて学ぶ」平成29年3月25日(土)
●自然観察会「アンモナイトを見つけよう」平成29年5月21日(日)
●自然講座「アンモナイトとその仲間たちの自然史」平成29年5月27日(土)
※上記イベントは、すべて事前申込み制となっております。
■ 交通案内 ●車利用の場合
・NEXCO東日本常磐自動車道谷和原I.C.から20分
・NEXCO東日本首都圏中央連絡自動車道境古河I.C.から40分
●鉄道・バス利用の場合
・東武アーバンパークライン(野田線) 妻岩駅から茨城急行バス「岩井車庫行き」乗車→茨城急行バス「自然博物館入口」下車→徒歩10分(バスは1時間に1本程度)
・つくばエクスプレス・関東鉄道常総線守谷駅から関東鉄道バス「岩井バスターミナル行き」乗車→関東鉄道バス「自然博物館入口」下車→徒歩5分(バスは1日に3~4本程度)
※交通機関を利用される方は、事前に各交通機関に時間をご確認のうえお越しください。
■ 次回企画展のお知らせ 第69回企画展「昆虫大研究プロジェクトーあなたも研究者 みんながつくる昆虫展ー」
2017年7月8日(土)~2017年9月18日(月)

ミュージアムパーク
茨城県自然博物館
〒308-0822 茨城県栃原町大塚709番地 TEL:0297-38-2000
ホームページ: <https://www.museum-shibayama.jp/> 〒308-0822

第68回企画展

アンモナイト・ワールド

The World of Ammonites
-Mysterious Creatures of the Mesozoic Oceans-
— 恐竜時代の海へいこう —





アンモナイト群集
(写真提供: Escullié François)



茨城県で産出した異常巻きアンモナイト
「ディアモセラス」



クラノドン(全身骨格)
(所蔵: 三重県総合博物館)



世界最大のアンモナイト化石「パラアジア」
(複製) (所蔵: 徳島県立博物館)

アンモナイトは約4億年前の古生代の海に出現しました。そして、中生代に繁栄し、6600万年前に絶滅しました。恐竜の時代に生きていたイメージが強いアンモナイトですが、実はその歴史は恐竜よりも長いのです。

アンモナイトの化石は巻貝のような形をしています。むしろ現世のイカに近く、軟体動物頭足類に分類されます。しかし、化石として見つかるアンモナイトは殻などの堅い部分が大多数であり、殻の中の軟体部の形状や絶滅の原因など、まだはっきりとは解明されていません。ここにアンモナイトの神秘的な魅力が隠されているといえます。

本企画展では、日本や世界各地で産出するさまざまなアンモナイト化石の展示を通して、最新の学術的知見を取り上げながらアンモナイトを紹介します。本企画展を通して、生物としてのアンモナイトを知り、地球上で行われる生物の絶滅と進化について一緒に考えていきましょう。

展示構成

- 中生代の海
- 日本のアンモナイト
- 世界のアンモナイト
- アンモナイト基礎講座
- 化石の発掘
- アンモナイトの形態と生態
- アンモナイトの系統と進化
- 絶滅から生態系の回復へ



観覧案内

<車利用の場合>
*NEXCO東日本
常磐自動車道岩谷町ICから20分
目黒駅中央口徒歩約10分(岩谷町ICから40分)
<徒歩・バス利用の場合>
*常磐アーバンライオン(野田線)
常磐線下車
↓
茨城県行バス「岩井幸庫行き」乗車
↓
「自然博物館入口」下車、徒歩10分
*つくばエクスプレス・
関東鉄道常総線守谷駅下車
↓
関東鉄道バス「岩井バスターミナル
行き」乗車
↓
「自然博物館入口」下車、徒歩5分
※各路線の乗車方法は、本館に配布する
詳細の上巻してください。

アンモナイトが大繁栄した中生代の海も網羅しており、その捕食者だったと考えられる大型海棲爬虫類なども展示される予定です。

株式会社ゼネラルサイエンスコーポレーション

自然史担当 鈴木 伸

Email: gsc@shibayama.co.jp